



リミックスポイント(382) 通し。成長をけん引する仮想通貨 5・②の収益が大きく拡大す 領域では、傘下の交換所「ビット ポイント」の口座数100万を規 期比3倍の102億に膨らむ見 野に入れる。上期に広告宣伝を積 極化し、利便性を高めた 新たな取引ツールも投入 する。

## 小田社長、仮想通貨口座100万視野に

# リミックス、営業益3倍も「確実な部分だけ」

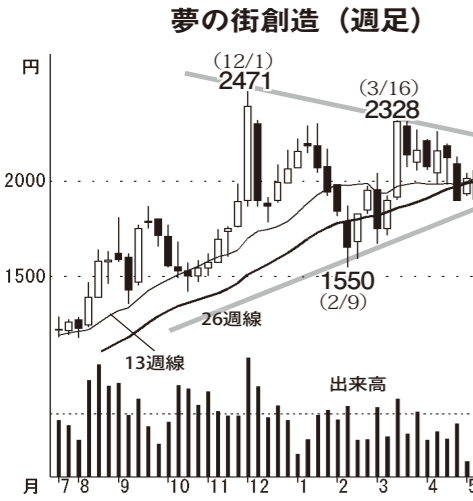
リミックスの小田社長は、仮想通貨の取 材で、仮想通貨の主要な取 引層である20代をスー ンターゲットに使い勝手の 良いアプリケーションの 開発を進めていることを 明らかにした。買い注文 の数量や条件を細かい設 定できるプロ向けツール と併せて、投入を急ぐ。

## ICO意欲、決済は高級アパレルと連携か

大手の交換所との差を詰めるべ く、サービス向上に乗り出した格 好。前期はひと月に数百万円しか 掛けなかった広告宣伝費も、今期 は年間数十億円を見込む。早け らば8月にもスポットのテレビC Mを開始し、ネット広告や交通広 告も投下して知名度を上げる。通 期の営業利益予想に占める、期 の比率(8%)が小さいのは、これ らの先行投資のためだ。

100万口座に近づいたら「小田社長」。

リミックスは仮想通貨決済への 本格参入も狙う。コンビニチェー ンとの提携を進めているほか、ア パレル系の高級ブランドからも 引き合いがあるという。コイン チェックの騒動で仮想通貨の信頼 度は一時揺らいだものの、普及の 勢いは衰えないとみる。ビットポ イントを通じて、仮想通貨を発行 して資金調達する「ICO(イ ニシヤル・コイン・オファリン グ)」を国内で支援する事業も手 掛けていく方向だ。



宅配ショッピングモール「出前 館」を運営する夢の街創造委員会 (2484・JQ、百株)の新展開に 期待したい。

## 夢の街創造

## 宅配代行に材料性、もちあい上げれも

など多くの業種が参入しているが、新聞販売店の配送ネットワークを活用できる夢の街創造の強みは大きい。今年4月には小僧寿し(9973・JQ)や、「牛角」などを展開するアスラポート・ダイニング(3069・JQ)と提携したほか、今後も宅配機能を持たない飲食店を巻き込んだ収益拡大に期待が掛かる。

今8月期の連結営業利益は8.2億円(前期比2.4%増)を計画。下期に増益に転じる見通しだ。株価は昨年後半にかけ上昇し、12月に高値を付けた後は三角もちあいのチャートを形成している。(片岡利文)

投資指標	
保有期間	3カ月
目標株価	2450円
損切りライン	1800円

5月21日終値 **1983円**

今後、2月の急落時に日足 チャートであげたマド(上限 2万3122円)を埋めた場 合には、1月23日に付けた年 初来高値の2万4124円が 視野に入りそうだ。

株価は底打ち反転の動きか ら、昨年11月以来の4000 円回復を視野に入れている。 直近では昨年9月高値まで の下げ幅の半値戻しを達成し、 チャート妙味も増してきた。

獲得に動いていると報じられ ている。現役の外国人選手と しては間違いなく超の付く大 物だ。驚くべきはその年俸 物だ。報道ベースでなんと約34 億円。Jリーグに限らず日本 のプロスポーツ界において、 圧倒的な最高年俸となる。 神戸の親会社は楽天(47 55)。ツインターという世 界的に有名な選手を獲得すれ ば今後の世界戦略に向け十分 元を取ると計算しているの だろう。インiesta選手の所 属するバルセロナは世界有数 のビッグクラブ。楽天はここ に胸のロゴを入れており、同 社の戦略が分るとうというも のだ。▼もっともJリーグのパ ランクという観点では疑問が 残る。同氏の現在の年俸は日 本円で11億円程度とみられて おり、報道が事実なら支払額 はその3倍。いまの評価を無 視した金額で、ここにはサッ カー選手としての価値といっ た考えは見られず、そもそも神 戸の営業収益が年38億円なの で年俸は親会社楽天が払う以 外にはない。また、一緒にプ レーする選手も、別を除き大 半は1億円以下。別格過ぎて あまり気にならないかもしれ ないが、土気の前で心配には なってしまふ▼経済効果とし て考えれば大きいのは確か。 また、欧州に比べJリーグの 年俸が低く抑えられているの は事実で、夢がないともされ るとはいえバランスを崩し てしまつたり方かどうかと言 わざるを得ない▼今年、首位 を独走するサンフレッチェ(フ 島の親会社ティエロン)の7 30)。(宮尾亮弥)

# 原料高を転嫁 需要も拡大続く

## 医療、電池分野にも伸び代

ステラケミフは半導体や電 子部品の加工、洗浄に使う フッ素系の薬液で圧倒的な シェアを誇る。IoT(モノ のインターネット)や自動 車、スマートフォンの普及に 伴い、半導体メモリ搭載量が 増え、高品質の同社の薬液の 売上は大きく拡大してきた。 WSTS(世界半導体市場 統計)によれば、今年の世界 の半導体市場の規模は440 0億が弱(約4・9兆円、前 年比7%増)に伸びる見通 し。中でも同社の顧客の多く を含むメモリ分野の成長は 著しい。昨年には2016年 比で6割超増えたが、今年も 1割以上の伸びが予想される。

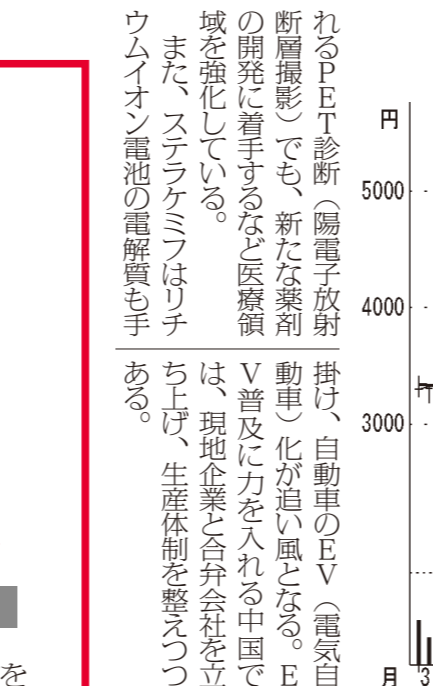
## 相場の戻り歩調に弾み

工業フッ素高純度薬品を手掛けるステラ ケミフ(4109)の値上げが順調に 推移している。前3月期は原材料の無水フッ酸の価格上昇に苦しんだが、3月からは 製品価格への転嫁を進めている。半導体市場の好調を受けて需要が伸びる中、収益回 復の勢いに弾みが付いている。(渡邊 亮)

同社は半導体のほかにも、 医療分野に有力材料を持つ。 住友重機械工業(6330)と組み、ホウ素薬液をかん細胞に取り込み、体外から 中性子線を患部に照射して 治療する「ホウ素中性子捕捉 療法」を研究。頭頸(けい) 部や脳腫瘍(しゅよう)を ターゲットに21年3月期の上 市を目指す。このほか、がん の早期発見技術として注目さ

比10%増の26億円を見込む が、上りも視野に入ってきた。 半導体用の薬液の出荷量は 前期に8・3万ト(前々期比 26%増)と過去最高を更新し たが、今期はさらに9・0万 トまで増える見込み。同社は 10万ト規模の生産体制を構築 し、需要を積極的に取り込

# ステラケミフ、値上げ順調



断層撮影)でも、新たな薬剤の 開発に着手するなど医療領 域を強化している。 また、ステラケミフはリチ ウムイオン電池の電解質も手

日経平均株価が3日続伸と なり、2万3000円台を約 3カ月半ぶりに回復した。 この日は18日まで開催され た米中貿易協議の結果で通商 問題への懸念が和らいだほ か、対ドルでの円の弱含みも 輸出株を中心に買いの要因と なった。前週末までの国内企業 の決算発表も継続して好感さ れている。 日経平均の終値は前週末比 72円高の2万3002円。

株価は底打ち反転の動きか ら、昨年11月以来の4000 円回復を視野に入れている。 直近では昨年9月高値まで の下げ幅の半値戻しを達成し、 チャート妙味も増してきた。

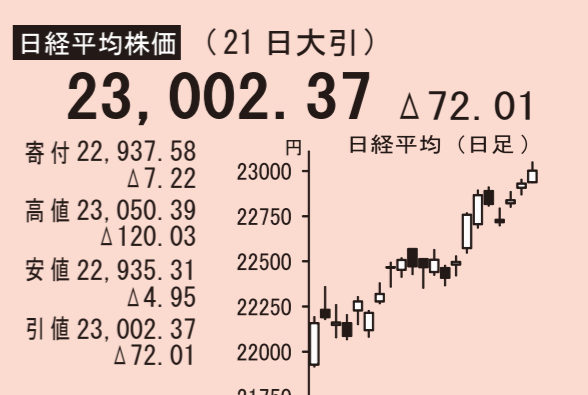
晴雨曇 ヴィッセル神戸が サッカー・スペイン代表のインiesta選手を獲得したと報じられている。現役の外国人選手として間違いなく超の付く大物だ。驚くべきはその年俸物だ。報道ベースでなんと約34億円。Jリーグに限らず日本のプロスポーツ界において、圧倒的な最高年俸となる。神戸の親会社は楽天(4755)。ツインターという世界的に有名な選手を獲得すれば今後の世界戦略に向け十分元を取ると計算しているの

今後、2月の急落時に日足チャートであげたマド(上限2万3122円)を埋めた場合には、1月23日に付けた年初来高値の2万4124円が視野に入りそうだ。

# 株式新聞

The Kabushiki Shimbun  
日刊/第18854号 2018年(平成30年)  
**5月22日(火)**  
土曜・日曜・祝日付休刊 昭和24年9月12日第3種郵便物認可

発行所 モーニングスター◎  
編集本部 〒106-6015 東京都港区六本木1-6-1 泉ガーデンタワー 15階 (電)03(6229)0810



相場のポイント  
米韓首脳会談  
5月22日の日経平均高安は00年以降で9勝4敗、平均騰落率プラス0.21%。前回まで5連勝中。国内では目ぼしい経済指標の発表はなく、20年国債の入札が予定される。海外ではワシントンで行われるトランプ米大統領と韓国の文在寅大統領による首脳会談に注目。5月リッチモンド連銀製造業指数のほか、トール・プラザーズやTJX、インテュットといった米企業の決算も。香港、韓国は相場。

海外指標	
上海指数	3,212.75 Δ19.451
ハンセン指数	31,388.22 Δ340.31

株式新聞購読のお申し込みは  
フリーコール **0120-989-687** (無料)  
受付は月曜日～金曜日 午前9時～午後5時 (ただし、祝祭日、12月31日～1月3日を除きます)  
「株式新聞」はASA(朝日新聞販売所)がお届けいたします

(新聞定価) 月ごめ本体価格3620円(税込3910円)、島根西部・九州・山口・北海道3810円(税込4115円)、沖縄4000円(税込4320円)  
・詳細については当社ホームページをご覧ください。  
http://www.morningstar.co.jp

読者の皆様へ  
株式新聞の記事・広告などは投資判断の参考となる情報提供のみを目的としており、投資その他を勧誘する目的で作成したものではありません。株式の売買は自己責任に基づき、ご自身の判断でお願いいたします。また、株式新聞が信頼できると判断した情報源から取材したものですが、その情報の確実性を保証したものではありません。

